

2007年2月15日

淀川水系流域委員会 様

宇治・世界遺産を守る会
藪田 秀雄

「事業中の5ダムについて当面実施すべき施策について」(平成19年1月30日 淀川水系流域委員会)に関する意見

- 1、第56回淀川水系流域委員会は審議資料4「事業中の5ダムについての当面実施すべき施策について(案)」を承認し河川管理者に提出されました。この意見書の「3

天ヶ瀬ダム再開発関連」の内容は、記述の理解できないところ、性質の異なる問題をひとつの文章にしているところ、また事実誤認があるのではないかとということで流域委員会の意見書としては瑕疵があると考え、精査していただきたいと考えます。

- 2、意見書の7ページの「3-1 天ヶ瀬ダムの放流能力」の項で(1)「放流能力の増大」の「放流能力の増大量は、琵琶湖の後期放流の計画放流流量から1500m³/秒とされているが、残流域からの出水はそれを超える洪水もありうることを考慮すると、塔の島地区の流下能力の増大限界に応じたさらなる検討が必要である。」という文章は理解に苦しむ内容です。「残流域からの出水はそれを超える洪水もありうる」とは宇治川洪水のことを指していると考えられます。琵琶湖の後期放流は計画的放流で性質の異なるものです。この文章は、宇治川洪水と琵琶湖後期放流という性質の異なるものをひとつの文章にしているために理解できない内容となっていると考えます。宇治川洪水と琵琶湖後期放流は分けるべきです。

現段階の宇治川の河川整備の基本は、昭和46年の「淀川水系工事实施基本計画」における「宇治地点(宇治橋付近)の計画高水流量1500m³/秒」と考えます。宇治川洪水は宇治橋から上流、瀬田川洗堰までの流域で2日間で272mmの降雨があった場合、大戸川ダムと天ヶ瀬ダムで洪水調節して天ヶ瀬ダムで1200m³/秒、宇治橋付近で1500m³/秒ということです。

琵琶湖の後期放流は宇治川が1500m³/秒の流下能力をもった時、その河川を利用して流すという計画です。

琵琶湖の後期放流は、流量250m³/秒の大戸川が合流するため(大戸川ダムは当面実施しない方針となった)、瀬田川洗堰から1500m³/秒を流すことは出来ません。そして「放流能力の増大量は、琵琶湖の後期放流の計画放流流量から1500m³/秒とされているが、」と記述されていますが、天ヶ瀬ダムではその下流で志津川や宇治川発電所の60m³/秒が合流するため天ヶ瀬ダムが1500m³/秒の放流能力をもったとしても、宇治橋付近計画高水流量1500m³/秒を変えない限り、天ヶ瀬ダムで1500m³/秒は放流でき

ないのです。

また「塔の島地区の流下能力の増大限界に応じたさらなる検討が必要である。」と記述されていますが内容の理解に苦しんでいます。塔の島地区の流下能力の増大限界は何によって判断するのかという問題があります。仮に塔の島地区の流下能力の増大限界が環境・景観に配慮した場合 $1300 \text{ m}^3/\text{秒}$ である時はそれを考慮して天ヶ瀬ダムの放流量を検討せよということでしょうか。

3、「3－4 宇治川塔の島地区の流下能力」の項で、「宇治川塔の島地区の流下能力の増大では、この地区の歴史的・文化的景観を考慮して、河床掘削を極力抑止するとともに、越水にも耐えられるように堤防を補強する必要がある。なお3mの河床掘削を前提として、既に実施されている左岸側の導水暗渠、締切堤、落差工、および右岸側の護岸工、といった洪水の流下を阻害している構造物を撤去する必要がある。また、宇治川の堤防については、とくに左岸側に堤防幅の狭い地域が存在しており、他の地区にもまして堤防の安全性については、より十分な精査を行ったうえで堤防強化をすべきである。」と記述されています。この文章は精査して分けるべきと考えます。

まず「宇治川塔の島地区の流下能力の増大では、この地区の歴史的・文化的景観を考慮して、河床掘削を極力抑止する。」で文章を切り、「なお3mの河床掘削を前提として、既に実施されている左岸側の導水暗渠、締切堤、落差工、および右岸側の護岸工、といった洪水の流下を阻害している構造物を撤去する必要がある。」と続けるべきです。

「越水にも耐えられるように堤防を補強する必要がある。」という記述は堤防全般についての記述であり、後ろの「宇治川の堤防については、とくに左岸側に堤防幅の狭い地域が存在しており、他の地区にもまして堤防の安全性については、より十分な精査を行ったうえで堤防強化をすべきである。」のところをもってゆき、「宇治川塔の島地区」と別に「宇治川の堤防強化」の項を起こして記述すべきと考えます。そしてこれは宇治川洪水の時の話になります。琵琶湖後期放流で越水ということは計画にありません。

塔の島地区は基本的に掘り込み河道です。仮に塔の島地区で越水を想定するということになれば、周辺の家屋はむちゃくちゃになり平等院は壊滅するということになります。